

『芸術工学研究』文献目録

平成11(1999)年 第1号 ~ 平成15(2003)年 第6号 (九州芸術工科大学「芸術工学研究」編集委員会発行)

平成16(2004)年 第1号 ~ 令和2(2020)年 第32号 (九州大学大学院芸術工学研究院紀要『芸術工学研究』編集委員会発行)

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
1	芸術工学の余地	古賀 徹	1	1999	H11
2	プロダクトデザインにおけるモデル製作の意義について	石村 真一	1	1999	H11
3	芸術工学における実習教育施設のあり方：九州芸術工科大学工作工房の概要とその軌跡	津田 三朗	1	1999	H11
4	色彩が音楽の印象に与える影響	岩宮 慎一郎, 林 克明	1	1999	H11
5	携帯情報機器による文字コミュニケーションと文字の運動表現	富松 潔	1	1999	H11
6	家庭ゴミ収集制度のインプリケーション：ゴミ有料化の問題点と多分別収集の持つ新たな可能性	近藤 加代子	1	1999	H11
7	北部アルバニアの抗争と和解：血讐の構造と意義	山本 和彦	1	1999	H11
8	木製容器における脚の変化：中世絵画資料に描かれた行器の脚を中心として	石村 真一	2	2000	H12
9	芸術工学研究：九州芸術工科大学設立に至るまでの審議経過をとおして	片野 博, 佐藤 優, 森田 昌嗣, 古賀 徹, 富松 潔	2	2000	H12
10	THE ETHICAL STRUCTURE OF THE KANUN: IS IT THE ORIGINAL FORM OF ETHICS IN HUMAN SOCIETY?	YAMAMOTO Kazuhiko	2	2000	H12
11	ゴミ収集制度と住民の環境行動・制度評価	近藤 加代子	2	2000	H12
12	パブリックデザインの企画：都市環境装置を企画・デザインする方法に関する考察	森田 昌嗣	3	2001	H13
13	Queue Management of RIO to achieve high throughput and low delay	堀 良彰, 池永 全志, 尾家 祐二	3	2001	H13
14	解放連関としてのデザイン：暴力なき世界のために	古賀 徹	3	2001	H13
15	車輪の発達と描写表現	石村 真一	3	2001	H13
16	彫刻理論によるCGのリアリティへの考察：作品「輓馬 '00」を中心に	知足院 美加子	3	2001	H13
17	砒素汚染に対する開発援助とバングラデシュの社会組織	谷 正和	4	2001	H13
18	A Study on Contemporary Japanese Architectural Design Ephemeral Space and Fragmented Urbanity	Hani Sarni Zgheib	4	2001	H13
19	『パリの虐殺』と宗教紛争・王権言説	大島 久雄	4	2001	H13
20	“音響設計学入門”の出版	藤原 恭司	4	2001	H13
21	ナヌムの家訪問記	石川 幸二	4	2001	H13
22	菱形文様と生活のかかわりに関する研究：中国の住宅における使用事例を中心として	石村 真一	4	2001	H13
23	ノイラートと近代デザイン	伊原 久裕	4	2001	H13
24	里山の現状と潜在力及び市民保全活動の展望	重松 敏則	5	2002	H14
25	学校と地域を結ぶ環境教育：クリーク地域の水環境を素材として	加藤 仁美	5	2002	H14
26	『ロンドン市に対するキリスト教徒の嘆き』における宗教紛争言説と黙示録的修辭	大島 久雄	5	2002	H14
27	まな板の発達に見る機能、形態、材質の変化	石村 真一	5	2002	H14
28	戸建て世帯におけるゴミ減量行動の種類とその動機について	近藤 加代子	6	2003	H15
29	《あらわれ》と《ためいき》：マラルメとドビュッシーの曲言法について	栗原 詩子	6	2003	H15
30	ブロードバンドがもたらすメディア環境の変化とインターネット広告の今後についての考察	雨森 和信	6	2003	H15

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
31	バングラデシュ砒素汚染村における代替水源利用にかんする社会文化的要因の分析	谷 正和	1	2004	H16
32	菱形文様と生活のかかわりに関する研究 2：シルクロードに展開する使用事例を中心として	石村 真一	1	2004	H16
33	絵画作品「皮膜」について	片山 雅史	1	2004	H16
34	音響デザイン論	岩宮 眞一郎	1	2004	H16
35	グレン・グールドのシェーンベルク解釈（作品23-5の演奏を通して）	中村 滋延	1	2004	H16
36	九州芸工大生のアジア度を計る：楽器音響学の授業から	吉川 茂	1	2004	H16
37	情報デザイン活用の現状と未開拓分野について『情報デザインソースブック』編集のプロセスから	池田 美奈子	1	2004	H16
38	中国の俎が日本の家具に与えた影響	石村 眞一	2	2004	H16
39	ギリシャ悲劇：アイスキュロスとソフォクレス：の倫理構造	山本 和彦	2	2004	H16
40	市民協働プログラムによるアートのまちづくり福岡市・姪浜駅南側広場のパブリックアート作品を通して	森田 昌嗣	2	2004	H16
41	アート・アニメーションによる音表現：久里洋二《G線上の悲劇》，コ・ホードマン《シュッシュュ》，ヤン・シュヴァンクマイエル《男のゲーム》，イジー・バルタ《見捨てられたクラブ》	中村 滋延	2	2004	H16
42	A method for teaching scientific report writing in English for nonnative speakers	Goodacre Jonathan, Remijn B. Gerard	2	2004	H16
43	アイヌ語の人称接辞体系の形成について	板橋 義三	3	2005	H17
44	紙面テクスチャを使った仮想鉛筆ドローイングインタフェース	鶴野 玲治, 立花 裕美, 村上 恭子	3	2005	H17
45	Teacher Personality and It's Relationship with Non-Western Views	Randall O. Pennington Jr.	3	2005	H17
46	マルセル・プロイヤーの家具デザインの研究	平井 康之	3	2005	H17
47	産学連携の相互連携機構構築と産学連携学考察に関する研究	湯本 長伯	3	2005	H17
48	ピアノのためのバッハによる組曲第2番	中村 滋延	3	2005	H17
49	Application of a Fuzzy Set Model to the Identification of Sounds	佐藤 教昭, 岩宮 眞一郎	4	2005	H17
50	Napoleon(1927)におけるトリプルエクランの試み：実験的マルチ映像の意義	脇山 真治	4	2005	H17
51	雲南省納西族の音楽とその工尺譜の研究	矢向 正人	4	2005	H17
52	The Music Dictation of Norman McLaren's Animated Piece Synchrony	栗原 詩子	4	2005	H17
53	民俗資料に見る日本のまな板の特徴	石村 眞一	4	2005	H17
54	那珂川河畔を対象としたまちづくり学習の実践	諫見 泰彦	4	2005	H17
55	翻訳・解説 T.W.アドルノ「今日の機能主義」	Adorno T. W., 古賀 徹	4	2005	H17
56	櫛の曲木加工技術と曲木家具製作技術との関連性	石村 眞一	5	2006	H18
57	今後の地域計画のためのプログラムと専門家に関する方向性について：福岡市「天神エリア」の来街者の動向調査及び調査報告書からの考察	戸島 義成, 森田 昌嗣	5	2006	H18
58	エンタテインメント・ビジネスと著作権制度の交錯点に係る一考察：エンタテインメント・ストーリーの模倣と再創の狭間で	児玉 徹	5	2006	H18
59	インターネット人口の推計値に関する考察：公表統計数値の問題点について	笹淵 祥一, 古川 淳一	5	2006	H18

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
60	カンボジア伝統影絵劇『スバエク・トム』及びその関連芸能の現地調査	中村 滋延, 河原 一彦	5	2006	H18
61	翻訳・解説 リチャード・フレックノーと「英国演劇小論」	Flecknoe Richard, 大島久雄	5	2006	H18
62	Francis Hutcheson's Utilitarianism and Political Theory: Succession and Change from Locke	KONDO Kayoko	6	2006	H18
63	バングラデシュ農村部における女性の生活に対するマイクロクレジットの影響に関する研究	筒井 康美, 谷 正和	6	2006	H18
64	日本における鋼管製カンチレバー構造の椅子に関する研究(1): 開発過程と初期意匠を通して	石村 眞一, 林原 泰子	6	2006	H18
65	マリー・バシュキルツェフと日本	米村 典子	6	2006	H18
66	松平頼暁《ピアニストのためのアルロトロピー》の作曲技法分析	山口 淳	6	2006	H18
67	評論 The Logic and Ethical Structure of Ultra-nationalism in Prewar Japan	YAMAMOTO Kazuhik	6	2006	H18
68	ジョン・ドライデンの『劇詩論』における英国演劇と古典主義	大島 久雄	6	2006	H18
69	たのしい資質開発: フクろう大学の試み	中島 祥好, 上田 和夫	6	2006	H18
70	TVCMにおけるスプリット・スクリーン表現の問題点と課題: 国内の放映作品の分析をととして	脇山 真治	7	2007	H19
71	日本における国際タイポグラフィック様式受容の一側面: 雑誌『SD』のデザイン実験 1964-1985	孫 明遠, 伊原 久裕	7	2007	H19
72	作曲作品の題材としてのラーマーヤナ: スバエク・トムの調査を踏まえて	中村 滋延	7	2007	H19
73	社会的課題解決のための政策手段としての企業: NPO間のパートナーシップ形成について	児玉 徹	7	2007	H19
74	コンテンツファイナンスの現状: 日米の映画ファイナンス手法の比較を通して	大野 純子	7	2007	H19
75	マリー・バシュキルツェフと伝記映画	米村 典子	8	2007	H19
76	日本における鋼製カンチレバー構造の椅子に関する研究(2)普及過程と意匠の展開を通して	石村 眞一, 林原 泰子	8	2007	H19
77	アヌシー国際アニメーション映画祭2007の調査報告	松隈 浩之	8	2007	H19
78	『プロスペロの本』と西洋書籍文化	大島 久雄	9	2008	H20
79	日本における竹製カンチレバー構造の椅子に関する研究	石村 眞一, 林原 泰子	9	2008	H20
80	作品 緒方消化器内科: ホスビタル・エッジを溶解する	田上 健一	9	2008	H20
81	動物の音声コミュニケーションと音楽との境界	矢向 正人	9	2008	H20
82	聴覚心理実験の押さえ所	黒田 剛士, 宮内 良太, 蓮尾 絵美	9	2008	H20
83	アメリカにおける洗濯機の歴史とデザイン: 「Maytag」 「Thor」のラインナップと変遷を通して	林原 泰子, 石村 眞一	10	2009	H21
84	日本の映画祭の現状と課題に関する調査報告: 東京国際映画祭と湯布院映画祭に係る事例を機軸に据えながら	児玉 徹	10	2009	H21
85	里山保全管理後の25年間の自生ツツジ類を含む林床における種多様性の動態からみた適正管理周期の設定	上原 三知, 重松 敏則, 藤井 義久	10	2009	H21
86	福岡市の鴻巣山におけるヤマザクラの消長と着花状況	藤井 義久, 志賀 壮史, 重松 敏則, 朝廣 和夫	10	2009	H21

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
87	自家製味噌および味噌桶の使用率低下と復活の可能性：福島県でのアンケート調査を通して	石村 眞一	10	2009	H21
88	木製チキリを用いた木材集成補強(1)	能野 謙介, 竹之内 和樹, 石村 眞一	10	2009	H21
89	農山村の地域資源を活用した廃校活用プログラムの検討	原 愛子, 重松 敏則, 朝廣 和夫, 藤井 義久	10	2009	H21
90	作品 回折の家	田上 健一	10	2009	H21
91	中山間地における学外実習：福岡県黒木町における環境・遺産デザインプロジェクト演習1の実施	谷 正和, 重松 敏則, 朝廣 和夫, 富板 崇, 石村 眞一, 原 愛子	10	2009	H21
92	マカオ旅遊学院(IFT)における文化遺産管理教育	福島 綾子, 李 芷薇, 黄 玉 瑩, 黄 翠霞	10	2009	H21
93	大都市商業空間のサウンドデザイン：福岡市新天町商店街時計塔前広場の音環境設計	中村 滋延, 西山 昌吾, 河 原 一彦	10	2009	H21
94	日本のアニメーション産業の現況と課題に関する一考察：(株)ゴンゾの事例から見た昨今のアニメーション制作会社事情	安達 則嗣	11	2009	H21
95	日本語の擬態語の音象徴について認知言語学的視点から	伊東 真美	11	2009	H21
96	映画に見る戦後日本の床坐と椅子坐の変遷(1)	石村 眞一, 林原 泰子	11	2009	H21
97	音楽考古学の報告書を読む	矢向 正人	11	2009	H21
98	ロボットにおけるカタの考察	尾方 義人	11	2009	H21
99	1980年代における福岡市の舞台芸術環境整備の形成に関する考察	安永 行政	11	2009	H21
100	日本の商業アニメーションの軌跡に関する一考察：東映アニメーション(株)の業歴から見た日本の商業アニメーション	安達 則嗣	12	2010	H22
101	「大濠と福岡の子ども達を繋ぐひまわりプロジェクト」活動報告：農を活かしたアートによる都市における地縁コミュニティ活性	東 真理絵, 片山 雅史	12	2010	H22
102	バングラデシュ地下水汚染地域における安全な飲料水の獲得に関する新たな格差の形成に関する研究	筒井 康美, 谷 正和	12	2010	H22
103	日本におけるカンチレバー構造の椅子に関する研究 (4)：1945年～1949年に製作された映画の使用場面を通して	石村 眞一	12	2010	H22
104	オペラ台本《ラーマヤナ》	中村 滋延	12	2010	H22
105	今日のモダニティ：2010年代のデザインと社会	古賀 徹	12	2010	H22
106	音楽心理学の動向について：音楽知覚、音楽と感情、音楽療法を中心に	浅野 雅子, 古根川 円, 中 島 祥好	12	2010	H22
107	音楽心理学の動向について：音楽知覚、音楽と感情、音楽療法を中心に	浅野 雅子, 古根川 円, 中 島 祥好	12	2010	H22
108	宮崎県都城市を事例とした民間主導によるバイオマス事業集積地域に関する報告	永野 亜紀, 近藤 加代子, 堀 史郎	12	2010	H22
109	ネパール国ナワルバラシ郡バトカウリ村における飲料水砒素汚染による健康被害と貧困の関係	谷 正和, 筒井 康美	13	2010	H22
110	Audiovisual Poem : Synthesis of Image and Music	Nakamura Shigenobu	13	2010	H22
111	卒業研究評価法の比較	上田 和夫, 鮫島 俊哉	13	2010	H22
112	演奏ツールとしてのソフトウェアアート：その創造特性と可能性	中村 滋延, 藤岡 定, 古田 伸彦, 的場 寛	13	2010	H22
113	インテリア・プレゼンボードにおける専門家と非専門家の見方の違いについて	森永 智年, 大井 尚行, 高 橋 浩伸	14	2011	H23

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
114	チャップリン《独裁者》に見る先駆的トーキー表現	中村 滋延, 川尻 大輔	14	2011	H23
115	分界稜の家	田上 健一	14	2011	H23
116	チャン・イーモウ《菊豆》における映画の構成要素としての音	中村 滋延	14	2011	H23
117	音楽と美の認識と記述	矢向 正人	14	2011	H23
118	日本における曲木家具用材の資源：伝統的に使用されるブナと新たな可能性を持つコナラを中心として	石村 眞一	14	2011	H23
119	アーティスト・プロフィールの役割に関する一考察：ドゥシニキ・ズドゥルイ国際ショパンフェスティバルのプログラム冊子を題材として	小谷 多幸	14	2011	H23
120	子どもの地域での活動、地域社会関係および地域観形成におけるコミュニティ・スクールの役割	近藤 加代子, 石神 翔伍	14	2011	H23
121	ベートーヴェン《第9》解釈の系譜：ハインリヒ・シェンカーの音楽物語を中心に	西田 紘子	15	2011	H23
122	生活環境における「健康」のイメージ構造の抽出：イメージグリッド法の開発	大井 尚行, 高橋 浩伸, 樋渡 郁子	15	2011	H23
123	鋼製建具の耐食性に関する研究	荒井 領, 井上 朝雄	15	2011	H23
124	小津映画における音の構造的機能：物音に関する主題論的考察	中村 滋延	15	2011	H23
125	Perception of English plural /s/ and /z/ in young Japanese adults	Remijn Gerard Bastiaan, Ueda Kazuo, Toyooka Tetsuro, Nakajima Yoshitaka	15	2011	H23
126	バングラデシュ・テクナフ半島における森林消失にみるキンマ栽培の影響	谷 正和, 朝廣 和夫, RAHMAN M. Zulfikar	16	2012	H24
127	バングラデシュ・テクナフ半島における森林消失にみるキンマ栽培の影響	谷 正和, ラフマン ズルフィカル, 朝廣 和夫	16	2012	H24
128	家庭系生ごみのバイオマス利活用にもつた地域の協力行動の影響要因の分析：大木町を事例として	近藤 加代子, 堀 史郎, 永野 垂紀	16	2012	H24
129	小津安二郎『東京物語』における対立関係を彩る物音	中村 滋延	16	2012	H24
130	Epos of Frontier Warriors : A Monument of Albanian Cultural Heritage : An Effort for Preparation of the File for UNESCO	Neziri Zymer, Yamamoto Kazuhiko	16	2012	H24
131	卒業研究評価に見られるバイアス	上田 和夫, 鮫島 俊哉	16	2012	H24
132	タイ王国東北部イサーンにおける現代農村の住居：コンケン県ムアンコンケン郡スィラー地区ダンボン村の事例	八谷 靖子, 井上 朝雄	16	2012	H24
133	伝統的建造物群保存地区における見直し調査に基づく保存地区の設定基準の考察：内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区を事例として	長野 麻里子, 西山 徳明, 谷 正和	17	2012	H24
134	日本語とアイヌ語の受動構文：不定価値受動構文	フレグヤ フルヴィオ	17	2012	H24
135	旧産炭地における炭鉱を文化資源としたアートプロジェクト：石炭・石炭灰顔料COAL PAINTを用いたアートプロジェクトと先行事例の比較考察	國盛 麻衣佳	17	2012	H24
136	第2の皮膚としての衣服の機能拡張	上岡 玲子	17	2012	H24
137	東日本大震災復興支援学生ワークショップの報告：宮城県南三陸町志津川地区における(社)日本造園学会の活動を通じて	朝廣 和夫, 長濱 伸貴, 野口 健一郎, 高橋 裕美, 高田 真由, 森嶋 直子	17	2012	H24
138	長唄正本にみる胡麻点の分類：単一胡麻の分類	矢向 正人, 新崎 達貴	17	2012	H24
139	フランススコ・スニガの彫刻観と触知の関係：ポストコロニアル的視座から	知足 美加子, 吉永 幸靖	17	2012	H24

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
140	音楽的文脈としての形式が確率的関係に及ぼす影響：レナード・マイヤーの議論を出発点に	小寺 未知留, 西田 紘子, 中村 滋延	17	2012	H24
141	九大百年祝典序曲	中村 滋延	17	2012	H24
142	小津安二郎の初のトーキー『一人息子』における音・音楽の用法	中村 滋延	17	2012	H24
143	福岡とスペインの中山間地過疎集落における家族構成と他出家族：縮小社会における生活環境圏デザインのための中山間地集落の研究	谷 正和, 井上 朝雄, 朝廣和夫, 大井 尚行, 田上 健一	17	2012	H24
144	中国の寒冷地域と夏熱冬冷地域における現代農村の住居：大連市長海県瓜皮島と重慶市榮昌県許溪村の比較	八谷 靖子, 井上 朝雄	17	2012	H24
145	ハエトリグモ後中眼の分光感度	高野 まり, 釜山 大樹, 山下 茂樹	18	2013	H25
146	「名詞化辞＋ヲ」構文における文法化の特徴	劉 洪岩	18	2013	H25
147	村野藤吾の建築における煉瓦とタイルの使い方に関する研究	八谷 靖子, 井上 朝雄	18	2013	H25
148	デザインにおけるコンセプト：ドゥルーズ/ガタリの概念論をもとにして	古賀 徹	18	2013	H25
149	小津安二郎のトーキー第2作『淑女は何を忘れたか』における音の用法	中村 滋延	18	2013	H25
150	上古中国語における能格動詞の形態対立	劉 洪岩	18	2013	H25
151	長唄正本にみる胡麻点の分類：その2：複合胡麻及び変形胡麻の分類	矢向 正人, 新崎 達貴	18	2013	H25
152	コガネグモの視神経遠心性細胞の脳内での形態と脳内光感受性細胞の存在部位	上妻 多紀子, 山下 茂樹	18	2013	H25
153	日本語における中国西学からの借用語について：その判定基準と分類方法を中心に	王 燦娟	19	2013	H25
154	ヤンゴン市内におけるイギリス植民地時代建築の現状	井上 朝雄, 八谷 靖子, 飛松 徹	19	2013	H25
155	字順転倒の二字熟語について	王 燦娟	19	2013	H25
156	HME育成プログラムによるKASAソニックアート・シリーズ：第1回演奏会「-うたう-声とピアノのために」	中村 滋延, 小畑 郁男, 小寺 未知留	19	2013	H25
157	福岡デザイン小史：1867-2012	森田 昌嗣, 青木 幹太, 井上 貢一, 古賀 唯夫	19	2013	H25
158	今史朗の音群的音楽における音叢：今史朗《偏光》におけるクラスター	中村 滋延	19	2013	H25
159	Rote Learning in English Education for Japanese Students : towards more Context-Oriented Multimedia Material	冬野 美晴	20	2014	H26
160	フリッツ・イエーデによる音楽作品論の諸特徴：空間の言語化と視覚化をめぐる	西田 紘子	20	2014	H26
161	民家改修型宅老所の利用実態と空間特性に関する研究：佐賀県の地域共生ステーション推進事業を通じて	河 浩湊, 伊藤 綾子, 田上 健一	20	2014	H26
162	英彦山修験道美術の復原および地理的関連性の考察：今熊野窟磨崖仏、清水磨崖仏、青木磨崖仏	知足 美加子	21	2014	H26
163	東日本大震災をめぐる「音楽の力」の諸相：未来の文化政策とアートマネジメントのための研究1	中村 美亜	21	2014	H26
164	今史朗《12人の奏者と電子音のための音楽》：その作曲技法上の特徴について	中村 滋延	21	2014	H26

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
165	モデルハウスの内装仕上材の色彩分析：秋田県と福岡県の事例	井上 朝雄, 土屋 潤, 川鍋 亜衣子, 李 上	21	2014	H26
166	ラオスの伝統芸能現代化の実態に関する調査報告	中村 滋延, 尾本 章, 鳥原 秀男	21	2014	H26
167	音響設計学科の教育における最初の専門科目としての「聴能形成」の導入	河原 一彦, 高田 正幸, 岩宮 眞一郎	22	2015	H27
168	漢文訓読における複合動詞の語構成および和文への影響	劉 洪岩, 王 燦娟	22	2015	H27
169	工業化以前のデザインの美学：ルネサンスからピーターマイヤーまで	古賀 徹	22	2015	H27
170	分別協力度を考慮した事業系生ごみ資源化の環境評価：不良生ごみの覆土助材利用シナリオの検討	工藤 亜美, 近藤 加代子, 松藤 康司	22	2015	H27
171	日中同形語辞典の問題点及びその改善策をめぐって	王 燦娟	22	2015	H27
172	中国語における母音挿入	詹 瑋, 板橋 義三	22	2015	H27
173	工業化初期のデザインの美学：グーテンベルクからトーネット、そして機関銃	古賀 徹	23	2015	H27
174	建設費助成制度にみる集会施設の実態と建替えの事業背景：持続可能な集会施設のモデル	佐倉 浩之, 田上 健一	23	2015	H27
175	バリ島ウブドにおける伝統芸能現代化の実態に関する調査	中村 滋延	23	2015	H27
176	初期オペラにおける演奏者の配置：英国、イタリア、フランスの上演形態の比較	森宗 里紗, 西田 紘子	23	2015	H27
177	レジリエンスデザイン試論：応用生理人類学研究センター：レジリエンスデザイン部門において	尾方 義人, 劉 瑾, 末村 裕子	23	2015	H27
178	ア系文脈指示詞と聞き手の存在認知に関する研究	陳 海濤	24	2016	H28
179	「サザエさん通り」のまちづくりデザイン：福岡市早良区での産学官民協働による取組を事例として	森田 昌嗣, 曾我部 春香, 鮎川 透, 杉本 泰志, 大城 欣彦, 森山 百合香	24	2016	H28
180	拍手の起源を探る：西洋古代史の史料を中心に	矢向 正人	24	2016	H28
181	音楽創作：前衛音楽への憧憬から訣別へ	中村 滋延	24	2016	H28
182	点・線・面による音楽の視覚化の歴史的一断面：1920年代ドイツ語圏を中心に	西田 紘子	24	2016	H28
183	型に基づく八女の伝統産業の研究	山下 大智, 尾方 義人	24	2016	H28
184	集会施設の建設費助成制度の活用と建築計画	佐倉 浩之, 田上 健一	25	2016	H28
185	音響芸術における振動現象の可聴化に関する考察	岡崎 峻	25	2016	H28
186	わが国の産炭地における美術活動の展開と意義：目黒区美術館「文化資源としての〈炭鉱〉展」を契機として	國盛 麻衣佳, 藤原 恵洋	25	2016	H28
187	コ系文脈指示詞の使用法における影響要素に関する研究	陳 海濤	26/27	2018	H30
188	レジリエンスデザイン方法試論：これまでのレジリエンス研究の実績に基づいた方法論の構築に向けて	尾方 義人, 西村 英伍, 江頭 優佳, 藤 智亮, 綿貫 茂喜	26/27	2018	H30
189	インターネットによる公衆への大学講義の提供と著作権：フランス法からの示唆	麻生 典	26/27	2018	H30
190	工業化後期のデザインの美学：初期社会主義、ラスキン、モリスの社会思想	古賀 徹	26/27	2018	H30
191	大学とローカルラジオ局の協働が生み出す地域間交流：番組とイベントの共同制作を通じた「共感」ベースのコミュニティの生成	長津 結一郎, 高坂 葉月, 中村 美亜, 尾本 章	26/27	2018	H30
192	インターネット上の違法コンテンツ規制	麻生 典	28	2018	H30

No.	論文タイトル	著者	巻	年	
193	流行現象の減衰に関する数理的考察：流行はどのように減衰するか：音楽CDに関して	深見 龍太郎	28	2018	H30
194	高齢者の健康状態区分と支援サービスとの関係：地方都市での健康都市の形成に向けて	都甲 康至	29	2018	H30
195	鉄骨考古学によるイギリス植民地時代の建築年代特定に関する研究：オーストラリアにおける鉄骨を使用した植民地期建築	矢野 温子, 井上 朝雄, 谷正和, 岸 泰子	29	2018	H30
196	演劇ワークショップの社会包摂的側面への期待とその実際：特別支援学級における演劇ワークショップを事例に	長津 結一郎, 中山 博晶, 松井 志穂	29	2018	H30
197	「スタイル画」の系譜：雑誌『少女クラブ』の場合	米村 典子	30	2019	H31
198	受容者による制作から見る特撮についての一考察：「熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト展」の事例を参考に	坂口 将史	30	2019	H31
199	主要交通拠点との距離から見る宿泊施設の立地動向に関する研究：福岡県福岡市・愛知県名古屋市の2都市を対象として	阿比留 大吉	30	2019	H31
200	ハンガリー及びルーマニアにみられる加速する手拍子の研究	矢向 正人	30	2019	H31
201	鉄骨考古学によるイギリス植民地時代の建築年代特定に関する研究：ベンガル地方における鉄骨梁を使用した植民地期建築	矢野 温子, 井上 朝雄, 谷正和, 田上 健一, 岸 泰子, 土屋 潤, 真鍋 皓平, ファイサル・モハメッド・フダ	30	2019	H31
202	行動と性格特性に着目したレジリエンスデザイン方法の構築：避難所での活動を想定した共同作業中の人の位置関係・心拍変動・性格特性の相関解析	西村 英伍, 岸田 文, 藤 智亮, 綿貫 茂喜, 尾方 義人	31	2019	R1
203	天の逆手：古事記の国譲りに現われた手拍(てう)ちの検討	矢向 正人	31	2019	R1
204	新松原みんなの家	田上 健一, 朝廣 和夫	31	2019	R1
205	A study on the relationship between Persian rug patterns and Morton Feldman's musical notation	JAVADI Amir Ahmad, Fujieda Mamoru	32	2020	R2
206	中国の拍手に見られるネガティブな感情反応	楊 鵬, 矢向 正人	32	2020	R2